

<広報の学校>**「最新デジタル入門」講座のご案内****① 会場聴講、または②ライブ配信（アーカイブ視聴付）から選択できます****— 12月21日(水)13:00～17:30 —**広報の学校
(共同ピーアール総合研究所)

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人々の生活のデジタルシフトが加速しています。それに伴いリアルビジネスもデジタルを意識したもの、デジタルを統合したものへと変わりつつあり、必然的に広報のあり方も変化を迫られています。

その一方で、SNSでの炎上に代表されるような新たなリスクが誕生し、「どのように自社・自団体がデジタルコミュニケーションを進めれば良いのか」思考停止に陥り、立ち止まってしまっている例も散見されます。

本講座では広報担当者を取り巻く環境変化を概観しつつ、機器・環境の変遷を通しユーザーの・世間の意識の移り変わり、Google・Amazonに代表されるグローバルITプラットフォームの各国社会・精度への影響など、大局的な観点から理解いただくことで、「デジタル化の進展にどう対応すべきか、自社・自団体の立場から考え、それぞれの事情に根ざした広報・コミュニケーション戦略を考える事が出来る広報担当者の育成」を目指します。

※「ライブ配信」でのご参加を選択された場合、当日のライブ配信に加えて、アーカイブ視聴期間中(1ヶ月)は何度でも繰り返し視聴ができます。

本講座は幅広い業界に対応した入門講座となっているため、服飾ブランド・化粧品といったデジタルコミュニケーションが特別に進んだ業界についてや、個別ツールの使い方、HOW-TOといった個別具体性が高い内容は紹介に留め、基礎・基本となる考え方を中心に取り扱います。

— 実施概要 —**■対象者** SNS運営担当者、広報・IR担当者、お客様相談室**■本講座の特色**

- ① ツールの使い方や単なる事例紹介に留まらない、時代・ユーザーの変化を踏まえた広報・コミュニケーション戦略を学ぶ。
- ② 国内の法律・条例だけでなく、海外IT企業や、各国のルール・条約が国内の広報に及ぼす影響について学ぶ。
- ③ 属人的でウケ狙いになりがちな再現可能性の低い広報手法ではなく、ガバナンスある運営プロセスについて学ぶ。

■講座概要 詳細はカリキュラムをご覧ください**■日時** 2022年12月21日(水) 13:00～17:30**■会場** 共同ピーアール セミナールーム(東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10階)

■講 師 ^{いばもと たけひこ} 射場本 健彦 (共同ピーアール総合研究所 主任研究員)

■受講料 45,000 円 (消費税込)

■申込方法: ウェブサイトページからお手続きください。

⇒ インターネット検索サイトで「共同ピーアール セミナー」と検索し、申込フォームにお進み下さい。その際、①会場聴講、または②ライブ配信 (アーカイブ視聴付) のどちらかを選択し明記願います

アドレス: <https://www.kyodo-pr.co.jp/seminar>

※お申込み受付け後に自動返信メールにてお申込確認情報が届きます。

※催行人数に満たない場合には、中止となることもございます。

※本講座は配布資料はありません。

■申込締切 12月13日(火) 17時必着

■支払方法 請求書はPDFでお送りいたします。記載のお支払い期限(当月締め翌月末払い)までにお振り込みください。

※請求書の原本をご希望の場合は郵送いたしますので、その旨お知らせください。

《振込先》 みずほ銀行(0001) 八重洲口支店(026) 普通預金 口座番号:2677982

口座名義: 共同^{キョウドウ}ピーアール株式会社 セミナー^{グチ}口

●参加方法は2つあります

① 「会場聴講」の方: 講座開始 10 分前にセミナールームで受付をお済ませください。

② 「ライブ配信」の方: 当日会場に来られずとも、遠隔で講座を聴講できます。

当日ライブを見逃した方は後日、アーカイブ視聴期間(1ヶ月)中であれば視聴可能です。

繰り返し受講されたい方もご活用ください。アーカイブ視聴期間は別途ご連絡いたします。

1つのIDで1ユーザーのみ視聴可能です。(1つのIDで複数の方は受講できません)

●お申し込みの前に必ずインターネット環境をお確かめください。

セキュリティの設定や、動作環境によってはご視聴いただけない場合があります。

以下のサンプル動画が閲覧できるか、事前にご確認の上、お申し込みください。

●テスト視聴サイト

<https://deliveru.jp/pretest5/>

ID livetest55 PW livetest55

※当日に「閲覧できません」旨ご連絡をいただいても、対応いたしかねますので必ず事前にご確認ください。

●推奨環境について

今回の動画配信は、株式会社ファシオの配信プラットフォーム「Deliveru」を利用しています。

推奨環境・ご質問は下記 URL をご参照ください。

◎推奨環境 <https://deliveru.jp/faq/#Q7> ◎よくあるご質問 <https://deliveru.jp/faq/>

<お問い合わせ先> メールでご連絡ください。担当が一両日中にはご返信をいたします。

「広報の学校」事務局 seminar@kyodo-pr.co.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10F

「最新デジタル入門講座」カリキュラム

時間	内 容	講師
第 1 部 13:00～14:30	広報・コミュニケーションを取り巻く環境変化 デジタル化によってユーザー・世間は何が変わったのか、今後どうなってゆくのか、アナログ時代とはどう違うのかを解説します。	射場本 健彦
14:30～14:50	休 憩	
第 2 部 14:50～16:10	デジタル化・グローバル化と日本の広報 国内の広報・コミュニケーションにおいて、海外・グローバルとの関係をどう意識することが求められるのか。デジタル化における環境の変化、新たなチャンス・リスクについて考えます。	
16:10～16:30	休 憩	
第 3 部 16:30～17:30	デジタルコミュニケーションに向き合う 自社・自団体の立場からデジタルコミュニケーションを進めるために何をすれば良いのか。担当者個人の頑張りではなく、組織として進めるためのプロセスなども交えながら考えます。	

【講師プロフィール】

いばもと たけひこ
射場本 健彦（共同ピーアール総合研究所 主任研究員）

慶應義塾大学 総合政策学部卒

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科修了

大学院修了後、富士通にて農業生産・経営研究、ASEAN 港湾インフラ開発、2020 年東京五輪関連事業に従事。2015 年、SNS 発信・メディアコミュニケーションを専門とする株式会社ジャパンコネクションを設立した。

最近では、ネットメディアの専門家として、国政選挙をはじめとした大型選挙運営にも携わり、政治・政策分野でのネット世論及び AI の活用可能性等に関する研究にも注力している。

2019 年 12 月、当総研主任研究員に就任。

【実績および兼務中の役職】

2004 年-2009 年 岡崎研究所 岡崎久彦所長 情報セキュリティ担当秘書

2006 年 未踏ソフトウェア創造事業採択（共同開発者 UX デザイン／開発担当）

2009 年-2015 年 富士通株式会社（農業・UX・カメラ研究／ASEAN 開発／五輪関係政策渉外）

2013 年 CEATEC 総務大臣賞（富士通 農業生産システム開発）

2018 年（特非）公共政策調査機構 運営委員・チーフ インフォメーション オフィサー（現任）